

柵津地域 創生ビジョン

第2版

《基本理念》

自然を活かし、歴史と文化を大切にし、安心して暮らせる
誰もが住みたくなる柵津の里づくりをめざします。

《基本目標》

- I. 子どもから高齢者までふれあいのある、心しみ『住みよい』柵津の里
- II. 湯の丸高原・御堂地域ワイン産業・東部湯の丸インター周辺を中心とした地域
資産を活用した『産業と観光で賑わう』柵津の里
- III. 『歴史・伝統文化を継承し』地域ぐるみで学校と連携しながら、子どもを育てて
いく柵津の里



柵津地域づくりの会



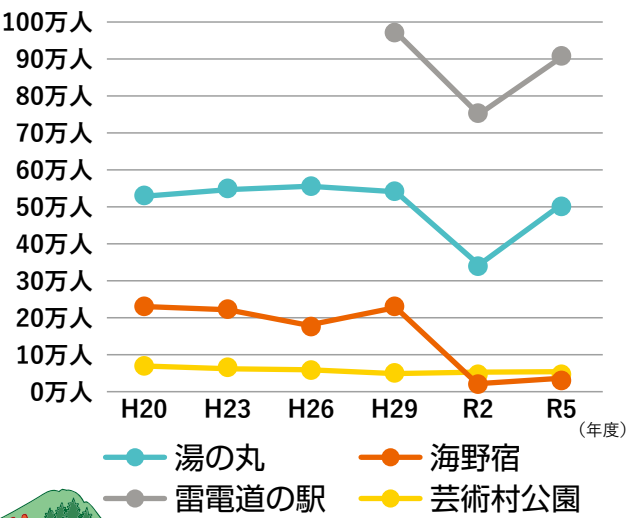
柵津地域の現状

	生活福祉関係	産業経済関係	教育文化関係
良い所・利点 	・日当たりが良く、災害が少なく住みやすい場所である。 ・高速道インターや新幹線駅が近くにある。 ・他市町村に比べて子育て施策が手厚いといわれる。 ・医療・福祉施設が地域内にある。 ・地域住民の大人も子どもも福祉施設との交流が盛んである。 ・ボールウォーキング等を通じて、定期的に健康づくりの啓発を進めている。 ・子供等の居場所づくりの取り組みを進めるだれでも食堂の活動を支援している。	・スキー場以外にもキャンプ場の整備やクアオルト健康ウォーキング、トレッキングに加え、アスリート向け公認室内プールや陸上競技トラック、食堂、宿泊施設も整備され、グリーンシーズンでの関係人口が増えている。 ・「ワインテラス御堂」（地域産物販売促進施設）が令和6年10月にオープンし、今後増々活性化する要素がある。 ・高原野菜・リンゴ、クルミの特産品に加えてワイン産業が拡大する可能性が大きい。	・史跡、伝統文化（東町歌舞伎、歌舞伎舞台、祇園祭、火祭り、御柱祭）が数多く存在する。 ・丸山晚霞生誕地である。 ・子どもがふれあう自然環境が多く残っている。 ・湯の丸高原は、身近に高山の動植物を観察できる。 ・城山はハヤシミドリシジミの生息地である。 ・小中学校行事へ住民の理解がある。
問題点・課題 	・少子高齢化が進んでいる。 ・消防団の後継者が不足している。 ・世代間交流の場が少ない。 ・地域活動への認識が低下し、地域のつながりも希薄化している。 ・高齢化により空き家が増加している。	・農業生産者不足は、今後増々進み、生産量が激減する。（予測） ・JA 柵津営農センター等の人員削減により、農業生産物減少の要因として懸念される。 ・少子高齢化が進む中、定年延長や雇用年齢の拡大により、当部会に限らず地域づくりの会全体の人材不足と、地域活動への認識が低下してきている。このため地域のつながりや関心の希薄化が進んでおり、10年前とは状況が激変している。 ・知名度(PR)不足解消のため、(一社)信州とうみ観光協会との連携を図る必要がある。	・児童数が減少している。 ・小学校校舎が老朽化している。 ・通学路環境が良くないところがある。 ・子どもの遊び場が少ない。 ・伝統文化の後継者（歌舞伎、道祖神祭、祇園祭、火祭り、御柱祭）が減少しており、歴史・文化の伝承が懸念される。 ・このような状況にあって、文化財の保護や整備について、検討を進める必要がある。 ・柵津案内人の育成及び体制の見直しが急務となっている。

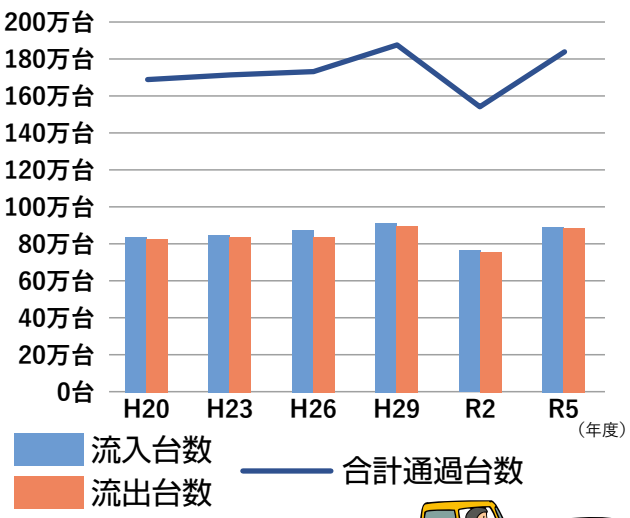
観光に関するグラフ



東御市主要観光地来訪者数
 （資料：東御市商工観光課）



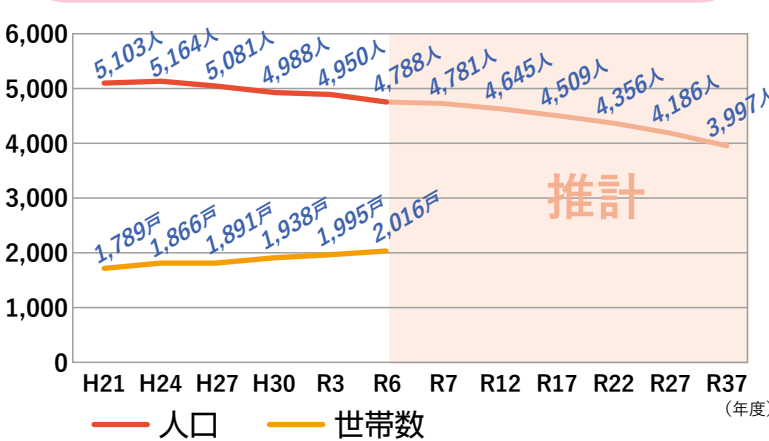
東部湯の丸インター交通量推移
 （資料：nexco東日本）



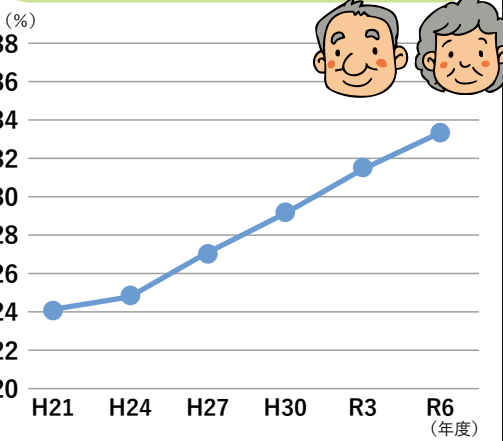
柵津地域の人口に関するグラフ



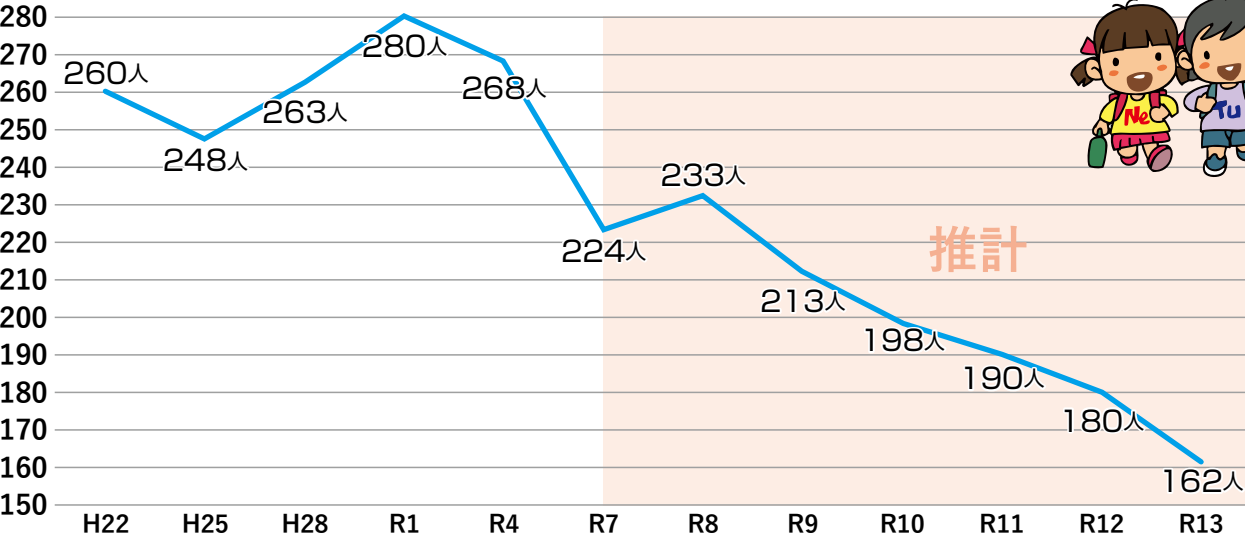
柵津地域人口と世帯数の推移・推計
 （資料：社人研所及び住基台帳）



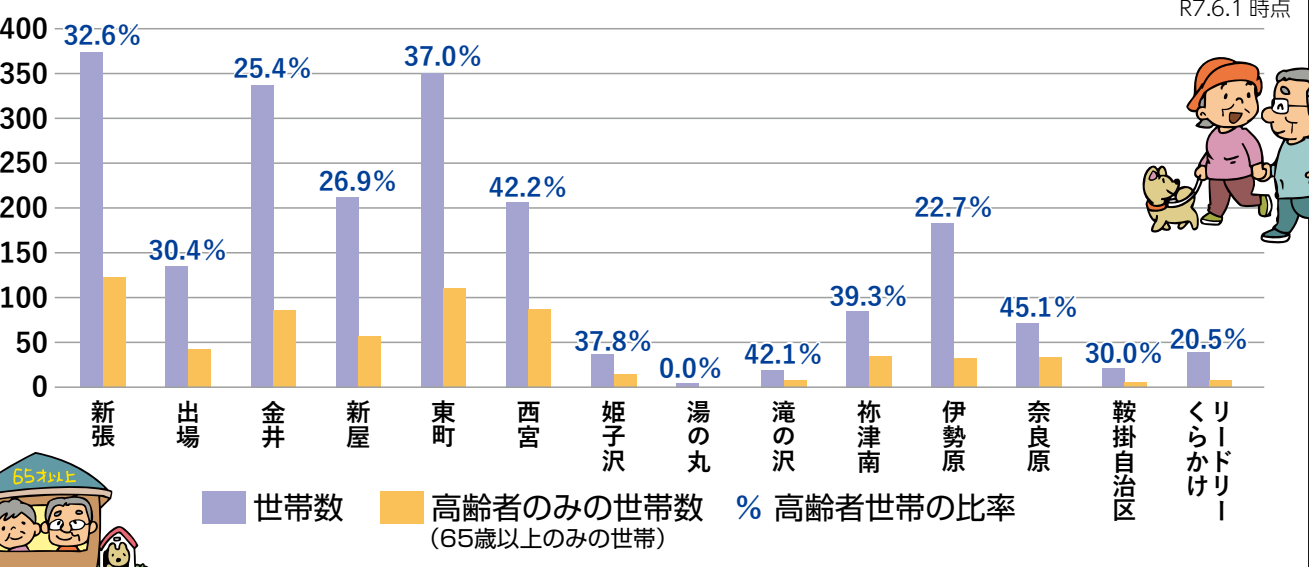
柵津地域65歳以上の高齢化率
 （資料：社人研所及び住基台帳）



柵津小学校児童数の推移・推計（資料：学校基本調査及び住基台帳）



R7年度柵津各区の世帯数・高齢者のみの世帯数及び比率（資料：住基台帳）



杵津地域の主な資産と伝統文化



柵津地域の基本理念実現のため、基本目標に向かって取り組んで行きたいこと

I. 子どもから高齢者までふれあいのある、心とみ『住みよい』柵津の里		
生活福祉部会	空き家移住 	空き家解消対策の活動（情報収集、利活用推進）を進めます。
		移住者に優しい環境づくりをし、柵津の良さを内外にアピールしていきます。
		故郷を離れていった子ども達が、戻ってきたくする里づくりを進めます。
	地域交流 	高齢者等を地域ぐるみで支える仕組みを推進していきます。
		子ども、若者、高齢者等の世代間交流を進めます。
		女性の活躍が出来る自治組織づくりを進めます。
		郷土愛を育むために地域交流の場を作っていきます。
		子ども、若者、高齢者等の世代間交流の環境づくりを進めます。
		住民の健康づくりを通じて交流を進めます。
	生活環境福祉 	医療施設の充実を提案していきます。
		商店、交通、公共施設等、高齢者にやさしい環境づくりを進めます。
		情報を収集し、災害、防犯に強い地域を目指します。
		草花の育成、里山保護の活動を進めます。
		不法投棄防止活動を進めます。

II. 湯の丸高原・御堂地域ワイン産業・東部湯の丸インター周辺を中心とした地域資源を活用した『産業と観光で賑わう』柵津の里		
産業経済部会	観光 	自然保護につとめ、自然を壊さない開発、産業振興を進めます。
		湯の丸高原施設整備基本構想を推進します。
		御堂地域ワイン産業開発とその周辺の活性化を推進します。
		湯の丸高原、御堂地域と柵津の史跡を巡る周遊ルートの整備を進めます。
		柵津の歴史、史跡等に関する案内人の育成を進めます。
		柵津氏（家）、松平家、丸山晚霞の歴史資源の活用を進めます。
		様々なメディア（新聞、TV、インターネット、SNS 等）を使ったPRを進めます。
	農業 	農業後継者の育成と荒廃農地の解消を進めます。
		現在の特産品（高原野菜、リンゴ、クルミ、ワイン）のPRを進めます。
		地元で働ける企業誘致、産業の振興を進めます。
		直売、ネット販売、観光農業、体験農業、空き家の宿泊施設への活用等、農業の第6次産業化等の研究を進めます。



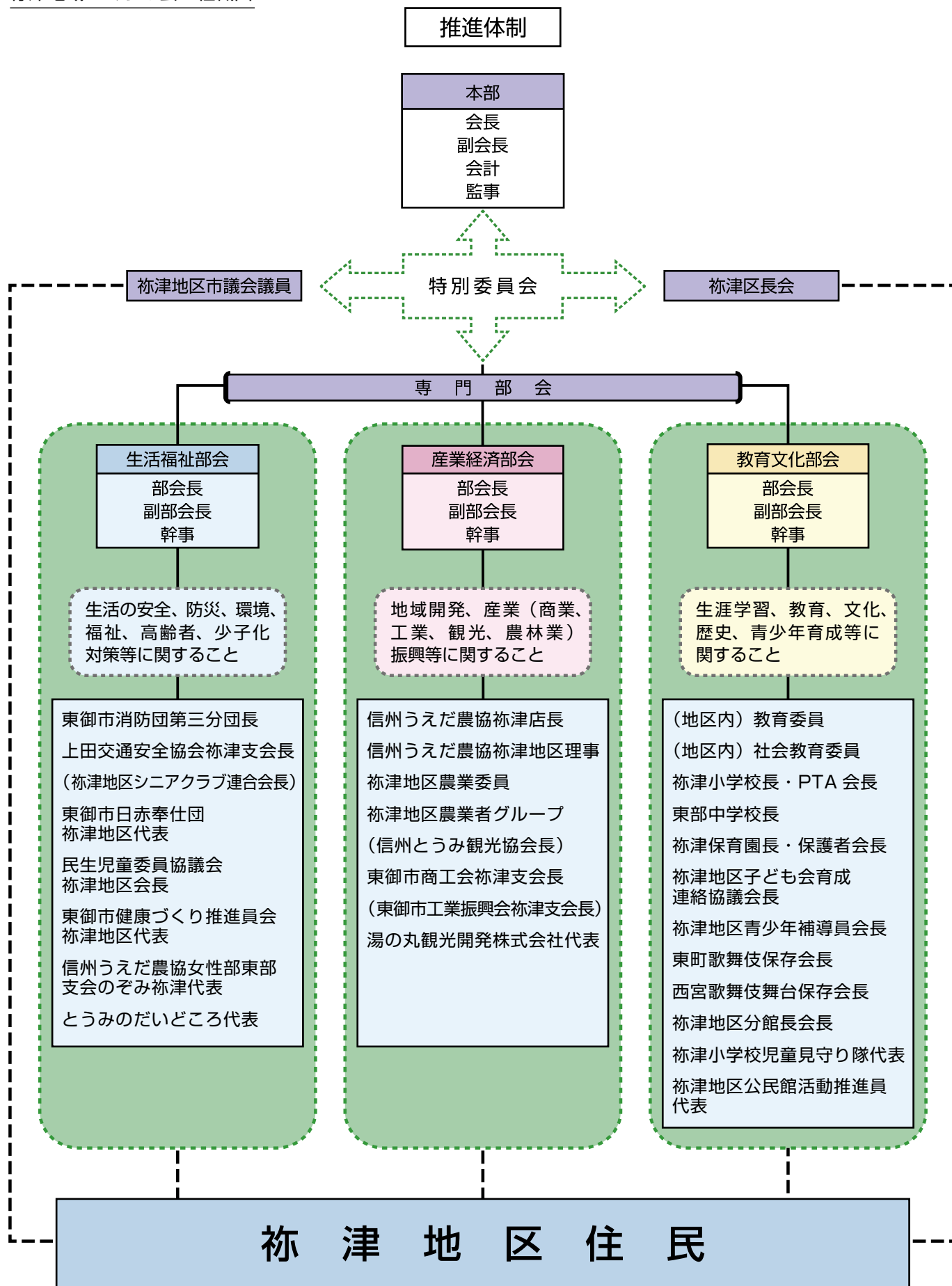
III. 『歴史・伝統文化を継承し』、地域ぐるみで学校と連携しながら、子供を育てていく柵津の里		
教育文化部会	子育て 	安心して子どもを産み育てることの出来る環境づくりを進めます。
		公園、里山、川等を整備し、子どもが自然の中で元気に遊び、学べる環境づくりを進めます。
	教育 	学校行事への参加、協力（見守り、あいさつ）を行い、児童、生徒との交流をして、地域ぐるみで子育てを進めます。
		通学路の環境（信号、道路、防犯等）を良くしていきます。
		学校と連携し環境保護教育を進めます。
	伝統文化 	各地区の伝統行事（歌舞伎、祇園祭、火祭り）の継承活性化を進めます。
		柵津の歴史について更なる調査、研究を進めます。
		伝統行事、歴史、史跡のPRと、観光への活用を進めます。

平成 27 年に「柵津地域創生ビジョン」を作成し、目標に向けた里づくりを進めて 10 年余りが経過したことを受け、柵津地区の社会変化等を踏まえた現状の見直しを行い、ここに「柵津地域創生ビジョン第2版」を作成いたしました。

目指す地域づくりを実現するための指針として柵津地区の団体や住民みんなで共有いただき、自然を活かし、歴史と文化を大切にし、安心して暮らせる誰もが住みたくする柵津の里づくりを進めてまいりましょう。



千曲川の南から柵津を望む



改定年月日：2025 年 9 月 1 日

祢津地域づくりの会／長野県東御市祢津 917-4 祢津公民館内
令和 6・7 年度東御市小学校区単位の地域づくり推進交付金活用事業